

令和5年度 P T A活動最終報告

学校名 富士市立吉原第一中学校 会長名 片岡 律子

令和5年度重点活動の具体的な取り組み内容

- ・地域の祭り等の巡視活動
- ・運動会や合唱コンクール等の学校行事への協力
- ・環境整備の向上（年間2回の奉仕作業、古紙回収方法の見直し等）
- ・一中校区三校の連携による合同役員会及び親睦リクリエーション大会の実施
- ・制服、ジャージのリサイクル
- ・PTAだよりの発行（年2回）

等

取り組みの効果

1. ① 2. 無（なぜ効果がでなかったのかを - 反省点 - に記入）

－具体的な効果－

- ・各種学校行事に協力し、参画することで、教員や生徒の活動の様子が分かり、学校教育への理解が深まった。
- ・コロナ禍で実施できなかった各種活動を実施したことにより、活動の是非について再度見直す機会となった。
- ・校区内の二つの小学校と会合や行事を連携して行うことで、情報共有や情報交換がより活発に行われるようになり、地域ぐるみでの教育活動の推進につながった。

－改善案－

- ・地区役員の在り方や選出方法について、次年度の課題として検討し、改善していく。
- ・各専門部の活動を再度見直し、学校や保護者、地域の実態に即した内容に改善していく。

令和5年度 P T A活動最終報告

学校名 吉原第二中学校

会長名 清水 領二

令和5年度重点活動の具体的な取り組み内容

- ・登校時、正門であいさつ運動を実施（毎週火曜）
- ・PTA新聞の発行（年2回）
- ・AED講習会の開催
- ・古紙回収
- ・奉仕作業
- ・第1回SDGsマーケット（バザー）
- ・卒業生用コサージュのラッピング

取り組みの効果

- ① 有 2. 無（なぜ効果がでなかったのかを - 反省点 - に記入）

—具体的な効果—

- ・コロナで3年間中止になっていたあいさつ運動が再開できて良かった。
- ・古紙回収をコンテナを常設する方式に変更したので、地域の方のご協力もいただき、収益面で効果が出た。
- ・SDGsマーケットは初めてだったが、提供品も売り上げも多かったので、ニーズが高いことが分かった。
- ・コサージュは、おそらく3年生が気に入ってくれる出来栄えになったので、喜んでもらえると思う。

—反省点—

—改善案—

- ・あいさつ運動が、一部の人だけで行われていた。当番を把握しやすいよう、年間の当番表を、プリントだけでなく、マチコミでもお知らせしたい。
- ・地区で作成する名簿に、生徒のクラスを記載する欄があるが、保護者同士も連絡がとりづらく、作成に時間がかかってしまうので、形式を変えたい。
- ・奉仕作業では、草が大変多く、時間内でやり切れないところがあった。吉原二中は、全体的に草や木が他校より多い気がする。事前に除草剤を撒く等の対応をしないといけないため、減らせる木々があれば減らしてほしい。
- ・PTA新聞は、コロナ禍を経てPTA活動がスリム化されたことにより、掲載できる写真が少なかった。活動の写真をこまめに撮る必要がある。
- ・SDGsマーケットは、知らなかったという人も多かった。もっと事前のアナウンスが必要かもしれない。また、提供品回収の期間や場所などについては、改善も必要であった。

令和5年度 P T A活動最終報告

学校名 富士市立吉原第三中学校 会長名 田村 弥生

令和5年度重点活動の具体的な取り組み内容

生活体育部：姫名の里祭りの見回り

「かけこみ 110 番の家」の依頼

県下一斉街頭補導（7月、12月）

成人教育部：P T A新聞「季みどり」20号の原稿依頼・編集・発行

P T A新聞発行（「さみどり」107号・「さみどり」108号）

環境整備部：P T A奉仕作業（樹木の剪定・草取り）

家庭教育委員会：卒業生へのコサージュ制作

3年生を送る会で卒業生にコサージュ贈呈

豊丘担当：アップラザのリンゴ消毒作業（5月上旬～8月 合計7回）

P T A本部事業：P T A総会（書面決議）

第1回～第4回本部役員・常任委員会の運営

現新合同役員会・専門部会の運営

編入統合に伴うP T A専門部会の再編及び会則の改定

取り組みの効果

1. ④
2. 無（なぜ効果がでなかったのかを - 反省点 - に記入）

－具体的な効果－

- ・吉原三中、吉原東中の編入統合に伴い、P T A専門部の再編成を行った。豊丘部の活動を廃止し、環境整備部で行うことにした。部は、生活指導部、成人教育部、環境整備部、家庭教育委員会の4つになった。
- ・P T A会則を改正した。
- ・奉仕作業をボランティア参加としたが、多くの保護者、生徒が参加してくれた。

－反省点－

- ・新型コロナウイルスが5類に移行され、P T A活動にこれまでのような取組が戻ることが考えられる。編入統合合わせ、これからの活動内容の検討が必要である。

－改善案－

- ・令和6年度のP T A総会は体育館に参集するが、内容は書面決議とする。
- ・部員数の減少に伴い、奉仕作業等への活動をボランティアとする。今後の参加人数を見守りたい。

令和5年度 P T A活動最終報告

学校名 富士市立元吉原中学校

会長名 木村 忠義

令和5年度重点活動の具体的な取り組み内容

- ・ P T A総会を紙面開催から参集型に変更し行った。
- ・ コロナの影響を学びととらえ、各種行事を効率的に行うことができた。
- ・ 奉仕作業は9月に P T A、教職員、一部の生徒により行った。
- ・ 廃品回収は、回収 B O Xを学校の敷地内に常時設置としていたが法的解釈と照らし合わせると適切な活動とならないことが考えられるため、回収 B O Xの常時設置を撤廃した。
- ・ あいさつ運動を年3回、長期休業明けに実施。
- ・ 支部長会にて、 P T A活動の課題を検討し、今後の活動方針の参考とした。

取り組みの効果

1. 有 2. 無（なぜ効果がでなかったのかを - 反省点 - に記入）

—具体的な効果—

- ・ 例年奉仕作業を行う際には、刈り取った草を運搬するために8台程度の軽トラックを各地区から分担して準備していただいていたが、 P T A会員に軽トラックを所持している人が少なく、調整にかなりの負担をかけていたが、パッカー車を借りる運用に変えたことで負担軽減することができた。

—反省点—

- ・ 負担軽減を優先して回収 B O Xを常時設置としていたが、法的解釈と照らし合わせると適切な活動とならないため今年度で撤廃することとした。

—改善案—

- ・ 今後も P T A会員の減少、 P T A活動に対する考え方の多様性が求められるため活動内容の検討時は、多角的な視野を持って検討していく。

令和5年度 P T A活動最終報告

学校名 富士市立吉原東中学校 会長名 伊東 巧

令和5年度重点活動の具体的な取り組み内容

- ・ P T A主催の閉校セレモニー
- ・ P T Aのつどいで「大龍の舞」披露
- ・ 吉永地区文化祭で、閉校を記念した展示ブースの設置
- ・ 三中との編入統合による P T A組織づくり、それに伴う P T Aの規約の改正
- ・ 三中、東中合同の P T A現新合同役員会
- ・ 令和6年度の P T A事業計画づくり
- ・ P T Aの常任委員会
- ・ 成人教育部による P T A新聞「比女奈」の発行と本校 H P の記事掲載
- ・ 生活指導部による祭典の見回りと交通指導（天王祭、姫名の里まつり、吉永地区文化祭）
- ・ 環境整備部による P T A古紙回収、 P T A奉仕作業
- ・ 健康安全部による早朝登校指導、ふれあいコンサートの交通指導
- ・ 家庭教育部による P T Aバザー、卒業生へのプレゼント

取り組みの効果

① 有 2. 無（なぜ効果がでなかったのかを - 反省点 - に記入）

－具体的な効果－

- ・ P T A主催で閉校セレモニーを実施した。 P T A閉校セレモニー実行委員会を立ち上げ、何度も打合せを行った。閉校セレモニーの開催目的やスローガンを決め、それに基づいて、企画・運営した。閉校セレモニー当日は、生徒や保護者、地域、本校卒業生や関係職員など、多くの人々が来校され、今までの吉原東中学校での思い出を振り返り、語り合えた。また、今後につながる閉校セレモニーとなった。
- ・ 令和6年度から吉原第三中学校と編入統合するため、 P T A組織について、両校の P T A役員が集まって、話し合った。また、それに伴う P T A規約の改正も行うことで、スムーズな P T A活動事業に移行できる。
- ・ P T Aのつどいで、「大龍の舞」を披露することで、本校が取り組む伝統芸能を多くの方々に認知することができた。

－反省点－

- ・ 特にありません。 P T A役員をはじめ、 P T Aや地域の尽力で、特別な1年となった。

－改善案－

- ・ 令和6年度から吉原東中は吉原三中と編入統合するため、 P T A活動のますますの充実を期待する。そのため、保護者に対して、 P T A活動の内容と重要性について十分に理解していただけるよう、積極的に情報発信する。

令和5年度 P T A活動最終報告

学校名 須津中学校

会長名 菊池 英樹

令和5年度重点活動の具体的な取り組み内容

今年度は9月2日（土）にP T A奉仕作業を実施しました。非常に暑い日であったため、時間を限定し、短い時間で活動しました。多くのP T A会員の方に参加していただきグラウンドや校舎周りの草取りを行いました。

今年度も各地区のP T A役員数の見直しを進めました。生徒数、世帯数の増減等を考慮し、各地区役員の出選数を抑えることにしました。それに伴って、今年度のP T A活動を振り返り、次年度の活動内容の計画を行いました。

取り組みの効果

1. 有
 2. 無（なぜ効果がでなかったのかを - 反省点 - に記入）
- 具体的な効果—

コロナ禍にあったときには実施できなかったP T A奉仕作業に、多くの会員の方に参加いただいたことが何よりの効果、成果であったと感じます。非常に暑い日だったため活動時間を短くしたのですが、時間を超えて取り組んでくださる方がいたこともありがたい姿でした。

また、今後のP T A活動について考えていく中で、各地区の役員数を減らすことで選出の負担の軽減をさらに進めることができたことも効果、成果と言えます。役員数を減らしたとしても、活動に賛同し、協力してくださる会員の方が多くいるため、常任委員会や専門部会を通して活動を積極的に発信し、参加を募る形のP T A活動が確立できるように今後も進めていくことを考えています。

—反省点—

今年度の奉仕作業は9月2日（土）に実施しましたが、非常に暑い日になってしまったため、来年度は6月16日（日）に実施するように計画しました。

—改善案—

役員定数の見直しを進めていますが、今後のP T A活動の在り方についてさらに検討していく必要があります。現在、本校では数は少ないですがP T Aに加入しない保護者もいますので、P T A活動に理解と協力を得るために今後は活動だけでなくより様々なことを発信していくようにしていきます。

令和5年度 P T A活動最終報告

学校名 富士市立大淵中学校 会長名 幸塚 直樹

令和5年度重点活動の具体的な取り組み内容

- ・成人教育部 年2回のP T A新聞発行
- ・生活指導部 校内・地区巡視および夜間の巡回とパトロール
- ・環境整備部 古紙とアルミ缶の回収事業
奉仕作業活動（校内の雑草除去や剪定を行った）
- ・体育保健部 P T Aと教職員の親睦球技大会
ギター教室のサポート
- ・家庭教育委員会 制服等古着販売
卒業生へのコサージュの準備、プレゼント
- ・P T A四役 3年生の合格祈願を行い、合格鉛筆を3年生に贈呈

取り組みの効果

1. (有) 2. 無（なぜ効果がでなかったのかを - 反省点 - に記入）

—具体的な効果—

- ・今年度は、昨年度と比較して、行事を制限をすることなく実施することができた。そのため、昨年度まで中止していた運動会前の奉仕作業活動を生徒と保護者、教員で行うことができた。
- ・体育保健部では親睦球技大会を実施し、グランドゴルフ大会では生徒と保護者、教員が1つのチームとなり、交流を深めることができた。
- ・2回発行されたP T A新聞においては、行われた学校行事の様子を載せることで、生徒の学校生活の様子を伝える役割を果たした。

—反省点—

- ・各事業への参加人数は、まだまだ不足している。
- ・家庭によって、参加が難しい事業（設定日、時間帯など）がある。

—改善案—

- ・広報活動の充実を図り、多くの会員が参加したくなるP T A行事にしていく。
- ・活動内容を精選し、どんな家庭でも無理なく参加できるP T A活動にしていく。

令和5年度 P T A活動最終報告

学校名 富士中学校 会長名 服部 英之

令和5年度重点活動の具体的な取り組み内容

- ・活動の縮小による、みんなで活動を助け合う。

取り組みの効果

1. 有
2. 無（なぜ効果がでなかったのかを - 反省点 - に記入）

－具体的な効果－

- ・行事ごと「できることを できる人と できる時に」をルールに活動できた。

－反省点－

- ・リーダーになる人の選出が難しく、結果自分が動いてしまうこと。

－改善案－

- ・もう少し話し合うこと
- ・事前に内容の発信をすること

令和5年度 P T A活動最終報告

学校名 富士市立岩松中学校 会長名 齋藤 崇

令和5年度重点活動の具体的な取り組み内容

- ・ P T A総務会（年7回 臨時2回含む）

- ・ **令和6年度のP T A組織改編に向けての準備**

令和5年度より公会計化への移行やP T Aへの加入届など保護者がP T Aの意義を考える機会がいくつかあり、現状維持では今後の運営や役員選出に大きく影響することが懸念された為、組織自体を簡素化し無理のない活動を実践していく事を考えた。

令和6年度に各専門部や各地区理事の完全廃止などの案を出し合い協議を重ねた。

P T A役員は、立候補制とした。

- ・ 運動会の写真・動画撮影
- ・ P T Aバザー

取り組みの効果

1. **有**
2. 無（なぜ効果がでなかったのかを - 反省点 - に記入）

— 具体的な効果 —

- ・ 必要最小限の予算を計画し、P T A会費を減額したことで、P T A活動の透明化・簡素化を実現することができた。
- ・ 無理のないP T A活動を計画することで、保護者にとっても、教員にとっても、時間に拘束される機会を減らすことができた。
- ・ 無理に役員を決めることがなくなったため、保護者と教員の良い関係性が保たれた。

— 反省点 —

- ・ 立候補制にしたため、令和6年度は、昨年度の3分の1の役員になった。

— 改善案 —

- ・ マチコミメールなどを通して、定期的にP T A活動の啓蒙活動を行う。
- ・ P T A役員は、年度途中からでもできるようにする。

令和5年度 P T A活動最終報告

学校名 富士南中学校

会長名 西 高志

令和5年度重点活動の具体的な取り組み内容

- ・ PTA 本部役員会 4・7・10・1・3月本部役員会
- ・ PTA 新聞「ふれあい」 7・2月発行
- ・ PTA 企画委員会 9・12月開催
- ・ 第1回古紙回収 6/30(月)~7/14(金)敷地内にコンテナ設置
- ・ 第2回古紙回収 11/13(月)~12/3(日)
※ボランティアを募集し、コンテナのシートの開け閉めなどの管理を依頼
- ・ 奉仕作業※ボランティアを募り、部活動の生徒と運動場の草取りを実施
- ・ 生活指導部、体育保健部による県下一斉パトロール 7・12月
- ・ 家庭教育委員会主催 PTA バザー開催
※2月の授業参観時に実施
- ・ PTA 会員限定学校見学会(1・2年生のみ)
- ・ PTA 会員限定学年行事見学会(3年生のみ)
※3月公立入試後、球技大会時に実施
- ・ 第47回富士市 PTA のつどい発表

取り組みの効果

1. ① 2. 無(なぜ効果がでなかったのかを - 反省点 - に記入)

—具体的な効果—

本校は PTA 会員が 421 名と学校の規模に対し加入者が少ない。今年度は、地区役員制度廃止し、専門部の部員を副会長・部長の方に絞ったり、行事ごとボランティアを募ったりしながら、「できる人が・できる時に・できることを」をスローガンに掲げ実施してきた。

そうした中、3月に1・2年生の非加入者に今年度の取組を提示し、再度 PTA 入会の確認をしたところ、十数名の新規入会者が出た。

—反省点—

本校の活動内容をさらに、会員・非会員に周知してくべきであった。

—改善案—

次年度は県下一斉パトロール等にも、ボランティアを募り活動内容を周知していきたい。

令和5年度 P T A活動最終報告

学校名 富士市立鷹岡中学校 会長名 植松 貞治

令和5年度重点活動の具体的な取り組み内容

◎鷹岡地区の、地域と子どもたちの健全育成を目指して、コロナ禍にあった P T A 活動を推進する。

～具体的な取り組み内容～

【生活指導部】県下一斉夜間巡視（7月14日、12月15日）

【成人教育部】P T A 新聞と、P T A 便り（マチコミ配信）の発行

P T A 三校合同講演会（10月22日）

【環境整備部】奉仕作業（10月10日）

【体育保健部】P T A インディアカ鷹岡地区天間地区交流大会（10月1日）

【家庭教育委員会】P T A 給食試食会（6月16日）

取り組みの効果

① 有 2. 無（なぜ効果がでなかったのかを - 反省点 - に記入）

－具体的な効果－

・奉仕作業など、年1回の開催にするなど、負担感の少ない運営計画を心掛けたが、多くの方に参加してもらうことができた。逆に、年2回くらいやってもいいねなどの前向きな声も上がっていた。

・P T A 便りをマチコミメールで配信することで、印刷の手間や代金も節約することができるとともに、タイムリーな記事を伝えることができた。今の時代にあった取り組みであり、今後も続けていけると良い。

－反省点－

・インディアカ大会については、地区によってメンバーの選出に苦慮するなど、実施に対して温度差があるようである。熱心にやりたい人もいれば、負担に感じる人もいる中で、いろいろな声に耳を傾けながら、今の状況にあった運営を心掛けたい。

－改善案－

・来年度の体育保健部の活動については、親睦のための会は持ちたいと考えているが、その開催方法や競技については、専門部長を中心に検討中である。

令和5年度 P T A活動最終報告

学校名 富士市立岳陽中学校 会長名 佐藤 祐樹

令和5年度重点活動の具体的な取り組み内容

- ・ P T A組織の改編
 - ①役員の上限を撤廃
 - ②部員制度、部会制度の廃止を決定
 - ③町内理事制度の廃止
- ・年5回理事会の開催（ZOOMを活用し、誰でも参加できる形に変更）
- ・公式L I N Eの立ち上げ・広報活動
- ・P T A会員に対するアンケートとそのフィードバックの実施
- ・年2回古紙回収の実施
- ・保護者による奉仕作業
- ・卒業生のためのコサージュ作成
- ・学用品リユース事業

取り組みの効果

1. 2. 無（なぜ効果がでなかったのかを - 反省点 - に記入）

—具体的な効果—

- ・「できる人が、できることを、できるだけ活動する」という基本方針のもと、一切の強制をなくしたところ、P T A会員にとったアンケートでは99.4%（満足59.2%、やや満足12.3%、普通27.9%）が肯定的に捉えているという結果となった。
- ・「イベント型のP T A活動から課題解決型のP T A活動に」を掲げ、ZOOMを活用した理事会の実施、公式L I N Eや相談窓口（P T A公式メールアドレス）の設置、アンケート等を実施したことで、普段学校に届かない保護者の抱えている課題や悩みが明らかになった。（学校に届きやすくなった。）具体的には、雨天時の服装や校則で規定している靴下の色等について意見をもらったことで、校内で指導の基準を確認したり、校則の改正に繋がったりした。
- ・強制参加ではないので、イベントに参加してくれる会員は進んで活動してくれた。

—反省点—

- ・すべてのP T A会員が公式L I N Eに登録しているわけではないので、「活動の開催を知らなかった。」等、周知が不足している様子が見られた。
- ・周知不足から、特に奉仕作業への参加者が少なかった。（70名程度）

—改善案—

- ・コロナ禍があけたので、こどもと保護者が一緒に参加できるようなイベント（奉仕作業も含む）を検討していきたい。

令和5年度 P T A活動最終報告

学校名 富士市立吉原北中学校 会長名 大場 亜紀子

令和5年度重点活動の具体的な取り組み内容

PTA 三役会：PTA 会則、役員数の見直し

生活指導部：① 7月14日、12月15日に三地区（富士見台地区・神戸地区・吉永北地区）における県下一斉補導の実施。

② 9月に富士見台交通安全大会に参加。

成人教育部：6月にPTA新聞の発行。

環境整備日：10月14日に奉仕作業を実施。

家庭教育委員会：5月13日体操服・制服バザーの実施。

取り組みの効果

1. **有** 2. 無（なぜ効果がでなかったのかを - 反省点 - に記入）

— 具体的な効果 —

- ・ PTA 加入率の低下および本年度の活動の内容から、役員への負担軽減を図り、専門部数と役員数の見直しを行った。また、PTA 会則内の PTA 総会の実施について見直しを行い、流動的に行えるようにした。
- ・ PTA と学校が協力し、交通安全への呼び掛けや働き掛け等を行った。本年度の本校生徒が関わる交通事故はなかった。
- ・ 運動場や校舎周辺の雑草が生い茂り、奉仕作業できれいになった。
- ・ 例年行っている PTA バザーに多くの保護者が来校した。保護者からの開催要望があり、次年度も実施を行う。

— 反省点 —

— 改善案 —

- ・ 次年度も保護者や教職員の負担軽減のために、各専門部の活動内容や実施時期の精査を行っていく。
- ・ PTA 加入率の低下に伴い、役員数の見直しを図る。今後の加入率の状況によっては、輪番制で行ってきた専門部の選出や各支部長の選出が難しくなるため、加入者全員へ募集をかけるかもしれない。

令和5年度 P T A活動最終報告

学校名 富士川第一中学校

会長名 別所淳一郎

令和5年度重点活動の具体的な取り組み内容

【本部】・「ふれあいはいさつから」を基軸に各行事に取り組んだ。

- ・PTA 役員を2年生保護者から選出する制度となって初めての年であったが、大きな問題もなく完遂した。

【生活指導部】・交通安全あいさつ運動を春と秋に実施した。

【環境整備・体育保健部】・富士川大運動会前に愛校作業を実施した。

【成人教育部】・HP に載せる PTA 活動の取材、原稿づくりを実施した。

【家庭教育委員会】・富士川地区青少年育成部会、富士川学校給食、学校運営協議会との打ち合わせ等に参加。

- ・市 P 連の各種講演会、講座、研修会への参加。

取り組みの効果

1. 有 2. 無（なぜ効果がでなかったのかを - 反省点 - に記入）
—具体的な効果—

- ・あいさつをすることで地域の声掛け活動に発展し、防犯への一定の効果があると感じている。
- ・2年生の保護者が全員役員をやることで、不公平感が軽減され保護者の責任感が強くなったと感じている。また、必然的に役員数が減ったため、各部で活動の見直しを行い、PTA 活動の効率化が進んだ。
- ・愛校作業ではボランティアや教員の協力で役員減少のデメリットをカバーできた。また、富士川大運動会と連動することで保護者だけでなく地域のボランティアの協力を得ることができた。
- ・PTA 活動や学校行事等を学校ホームページ上にて発信することで、新聞作成の労力とコスト削減ができた。
- ・一人の人が同じ会合に参加するのではなく、分担して様々な協議会に参加することで、昼間開催の行事に仕事で参加できない役員をフォローできた。

—反省点—

- ・スリム化する一方で、コロナで自粛したイベントが復活できていない（バザー）。
- ・役員決めの際、人気のある部とそうでない部の差が大きい。
- ・同一の学年に PTA 役員が集中することで、行事に不具合が生じる可能性がある。（大運動会2年生種目のときの対応など）

—改善案—

- ・CSを通じて小学校との連携を密にすることで、フェスタなどの行事への参加を再開する。
- ・各専門部が何をやっているのか、もっと情報発信することで PTA 活動を理解してもらう。
- ・特に2年生の学校行事の際には、事前の相談と準備を行う必要がある。

令和5年度 P T A活動最終報告

学校名 富士川第二中学校 会長名 齊藤 勇一

令和5年度重点活動の具体的な取り組み内容

- ・クリーン作戦
- ・小中PTA合併関係
- ・講演会（静岡大学教授 市子連代表）
- ・PTA新聞発行（わだち2回発行）
- ・卒業生に向けてのコサージュ作り

取り組みの効果

1. 有 2. 無（なぜ効果がでなかったのかを - 反省点 - に記入）

－具体的な効果－

- ・クリーン作戦では、小中共に活動できた。
- ・合併に向けての話し合いでは多くの意見をもらえた。
- ・わだちへの保護者の反応が良くなっている。
- ・PTAの小中合併の新組織作り（意見交換）。

－反省点－

- ・講演会への人の集まりが良くなかったため、お知らせの方法を考えたほうが良かった。

－改善案－

- ・話し合った内容の共有や周知の方法は改善の必要を感じる。